



インストールの概要

この章は、次の項で構成されています。

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco Prime Network Registrar について \(1 ページ\)](#)
- [センシティブデータの露出 \(3 ページ\)](#)

概要

このガイドでは、Linux オペレーティングシステムに Cisco Prime Network Registrar リリース 11.0 をインストールする方法について説明します。Cisco Prime Network Registrar の設定と管理に関する重要な情報については、次のマニュアルも参照してください。

- Cisco Prime Network Registrar およびの構成と管理の手順については、『*Cisco Prime Network Registrar 11.0* アドミニストレーションガイド』を参照してください。
- CLI (コマンドラインインターフェイス) で使用できるコマンドの詳細については、『*Cisco Prime Network Registrar 11.0 CLI* リファレンスガイド』を参照してください。

Cisco Prime Network Registrar について

Cisco Prime Network Registrar は、企業の IP アドレス管理を自動化するネットワークサーバスイートです。アドレス割り当ての信頼性と効率性を向上させる安定したインフラストラクチャを提供します。次のものが含まれています (下の図を参照)。

- ダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル (DHCP) サーバ
- ドメイン ネーム システム (DNS) サーバ
- キャッシング ドメイン ネーム システム (CDNS) サーバ
- 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) サーバ
- 簡易ファイル転送プロトコル (TFTP) サーバ

これらのサーバは、Cisco Prime Network Registrar の Web ベースのユーザインターフェイス (Web UI) または CLI を使用して制御できます。これらのユーザインターフェイスは、異なるプラットフォームで実行されるサーバクラスタも制御できます。

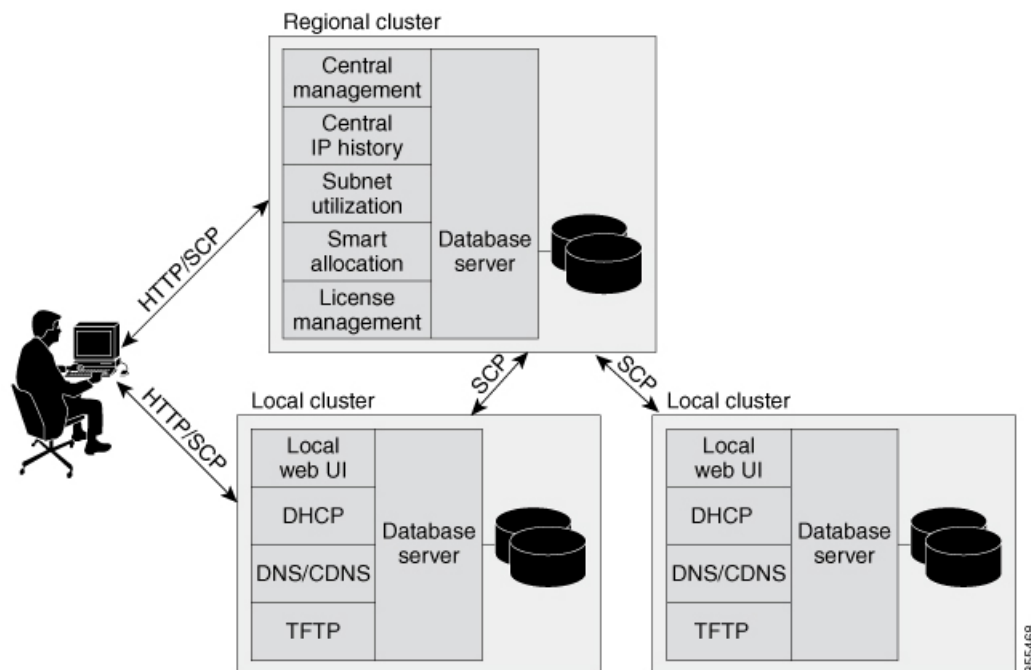
Cisco Prime Network Registrar は、ローカルモードまたはリージョナルモードでインストールできます。

- ローカルモードは、ローカル クラスタ プロトコル サーバの管理に使用されます。
- リージョナルモードは、中央管理モデルを介して複数のローカルクラスタを管理するために使用されます。

リージョナルクラスタはライセンスに必要であり、ローカルクラスタサーバとそのアドレス空間を一元管理するために使用できます。リージョナルの管理者は、次の操作を実行できます。

- Cisco Prime Network Registrar のライセンスを管理します。インストールには、ライセンス管理のために少なくとも 1 つのリージョナルクラスタが必要です。
- ローカル DNS と DHCP サーバとの間で構成データをプッシュおよびプルします。
- ローカルクラスタから DHCP 使用率と IP リース履歴データを取得します。

図 1: Cisco Prime Network Registrar ユーザインターフェイスとサーバクラスタ



355468

センシティブデータの露出

Cisco Prime Network Registrar が処理するデータのほとんどは、暗号化されていないネットワーク（特にクライアントデバイスへの最後のホップ）を介して送信され、その性質上、ネットワーク上の他のデバイス（ローカルまたはインターネット経由）で共有および使用できるように設計されています。

Cisco Prime Network Registrar のデータ（またはその一部）は機密性が高いと考えられる場合は、Linux のディスクベースの暗号化サポートを使用してディスクを暗号化することを強く推奨します。これは、制御された領域をディスクが離れた後（つまり、寿命に達したか、適切に消去できないまたは盗まれた場合）、データを保護するのに役立ちます。また、バックアップを保護する方法、またはデータを移動できる他の場所も考慮する必要があります。

